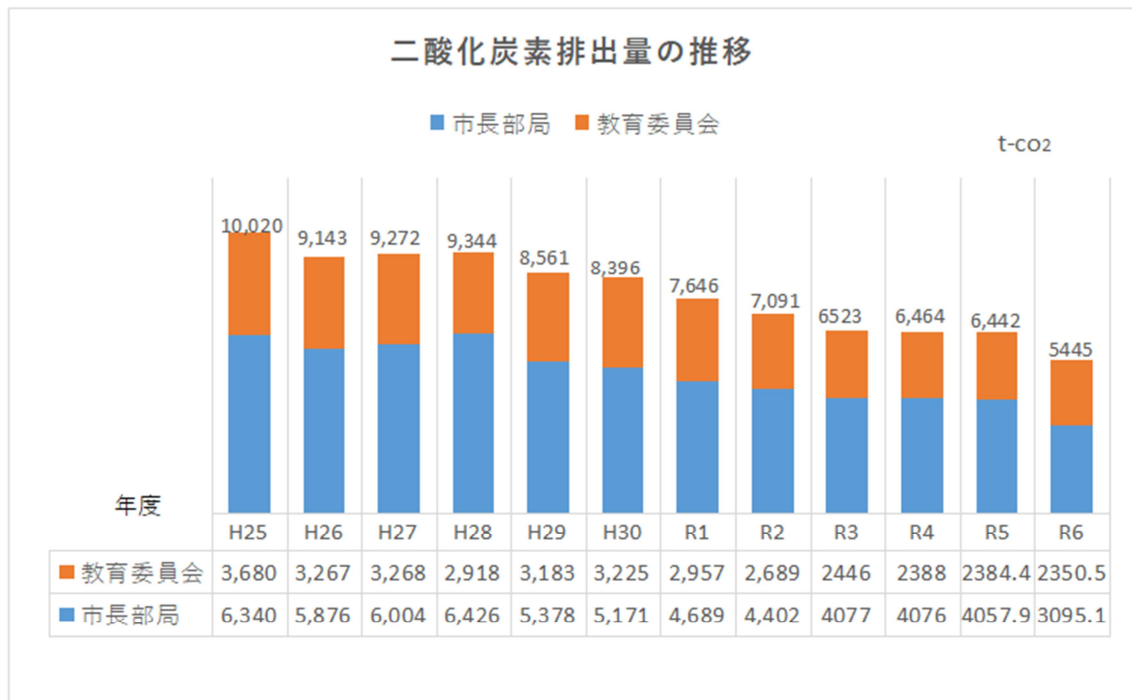


倉吉市の事務事業に伴う二酸化炭素排出量

1 二酸化炭素排出量の推移について

○令和 6 年度実績値 5,445 t -CO₂

○H25 年度（計画の基準年度）比で、二酸化炭素排出量を 45%削減しました。



【二酸化炭素換算数量を算定方法】

- ・灯油・重油・ガソリン・軽油などの燃料

燃料使用量 (kℓ) × 換算係数 (GJ/kℓ) × 排出係数 (tC/GJ)

× 44/12 (CO₂ の分子量 / C の分子量) ※燃料ごとに換算係数、排出係数が異なります。

- ・電気

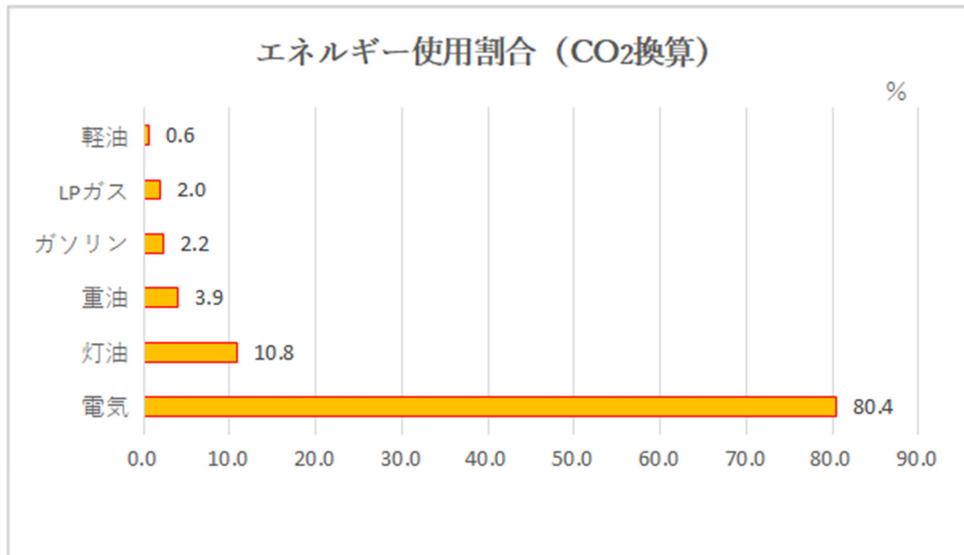
電気使用量 (kwh) × 電気事業者別排出係数 (t-CO₂/kwh) 注¹

¹ CO₂ 排出係数 (CO₂ 排出原単位とも呼ばれる) は、電力会社が一定の電力を作り出す際にどれだけの二酸化炭素を排出したかを推し測る指標です。

毎年、環境省のホームページ上で電気事業者別排出係数一覧が公表されています。

2 市有施設のエネルギー消費割合について

令和 6 年度では、エネルギー使用量（二酸化炭素換算）の 80.4%を電気が占めています。



3 電気使用量の推移について

平成 29 年度から横ばいで推移していましたが、令和 4 年度以降は削減傾向にあります。

